



### 学校教育目標

かかわりを通して 未来を拓く

#### 生徒の実態

- 様々な活動に真剣に取り組む
- 互いに思いやりながら行動する
- 表現力のさらなる向上が望まれる
- 要支援生徒の絶対数が多い

～学校スローガン～「**団結と継続**」  
 ～生徒会スローガン～「**理想と自律**」

#### 保護者・地域の願い

- 統合を機によりよく成長してほしい
- 自分となかまを大切にしてほしい
- 確かな進路意識を持ってほしい
- 地域を支える人材を育みたい

#### めざす学校像

「子どもの可能性を拓く学校」

#### めざす生徒像

「なかまと共に学び育つ子ども」

#### めざす教師像

「教育活動に個の力を生かす教師」

学校経営基本方針：ウェルビーイングを目指す ESD (Education for Sustainable Development) の「6つの視点」と「7つの能力・態度」を教育の基盤に、可能性に挑む教育活動を展開する

- 1 ピア・サポートを土台とする教育活動を展開する
- 2 教職員がファシリテーターに徹することで、子どもが主語となる教育を構築する
- 3 より良い課題解決に向け、チーム支援を核とした組織運営を実現する
- 4 働き方改革を推進し、1ヶ月時間外在校等時間平均 30 時間を目指す
- 5 改善を重ねる視点から、教育活動の振り返りを重視する

#### 経営の重点

- 学力充実  
これからの時代に求められる能力を引き出す授業を具現化し、体験型学習を土台とする「かかわり」を生かした「みんなが分かる」指導を展開する。
- 要支援生徒対応  
要支援生徒の状況を全教職員で情報共有し、個別支援委員会を中心にチーム支援を機能させて課題の解決にあたる。

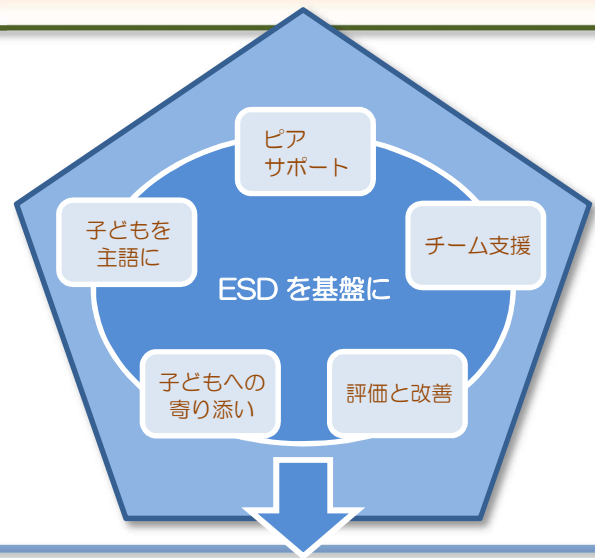
#### ESD の視点と能力・態度を教育の基盤に可能性に挑む教育活動を展開する

##### 「6つの視点」

多様性 相互性 有限性 公平性 連携性 責任制

##### 「7つの能力・態度」

- 批判的に考える力
- 未来像を予測して計画を立てる力
- 多面的・総合的に考える力
- コミュニケーションを展開する力
- 他者と協力する力
- つながりを尊重する態度
- 進んで参加する態度



#### 重点1 「学力充実」

##### 具体的方策

これからの時代に生きる力を

体験型学習を土台とする「かかわり」を生かした「みんなが分かる」指導を展開する。

- 学力調査結果の分析と対応
- 子どもを主役にする教育

共通事項 ・ピア・サポート環境の構築 ・研究と修養 ・情報の共有 ・開かれた学校づくり

#### 重点2 「要支援生徒対応」

##### 具体的方策

これからの時代に生きる力を

個別支援委員会を中心にチーム支援を機能させて課題の解決にあたる。

- クラス・学年づくりへの集中
- 小中連携